

# 招待席

## 「多様な働き方」「働きやすさ」実現は企業の責務 「どこでもオフィス」化のすすめ

チャンスと捉える企業も増えている。

本稿にご登場いただく、株式会社

インターコア（以下「インターコア

社」の庄司公明社長も、働き方の

多様なニーズを捉え、アクティブな

事業展開を進めている一人だ。

インターコア社では、専用の「U

SBスマートキー」を出先のPCに

差し込むだけで、いつでもどこでも

職場のPCにアクセスし、どこでも

オフィスを実現できる「スマート

インターワーク」を開発・

販売。好評を博している。

昨年の震災を契機に、

オフィスへの出社不能、

計画停電による業務効率

低下などに備え、どこで

もオフィス化を簡単に

実現できるツールとして

引き合いが急増したとい

う「スマートインターワーク」。

情報保護の観点から、社内PCや

営業資料など紙ベースのデータ持ち

出しの厳格化が進んでいる大企業な

どからは、営業マン一人ひとりに専

用USBだけを持たせ、客先のPC

を利用した提案営業などに活用され

るケースも増えているという。

被災地だけでなく先の震災時には

首都圏でも通勤や仕事での移動に相

当の支障が出た。また、社員の不注

意や不手際から、社外への顧客情報

や機密情報の流出も続き、ビジネス

シーンにおける効率、働き方や情報

管理のバランスを図る企業側の責任

は、急速に増している。

「災害などの緊急時には、事業の

継続性を少しでも高める。平時には

ビジネスマン一人ひとりの労働効率

を高め多目的に使えるツールが求め

られている。多様な働き方を促す多

目的なニーズに応えられる製品とし

て「スマートインターワーク」が普

及していることは本当に嬉しい」（同

社・庄司社長）

経営者である庄司社長自身は「社

長のイス」にどっかりと腰を下ろす

タイプではない。

「いつでも、どこでも働ける、に

加え、いつまでも」という視点で営

業しています。ヤル気があれば年齢

も性別も関係ない。アクティブなビ

ジネスマンをもっとサポートできる

製品を期待してください」（庄司社長）

「ビジネスマン一人ひとりの「働き

やすさ」が企業業績にも如実に反映

される時代。

労働形態の多様化を自社の成長エ

ンジンとして確実取り込みたい企業

などでの普及を期待したい。



株式会社インターコア

社長 庄司公明